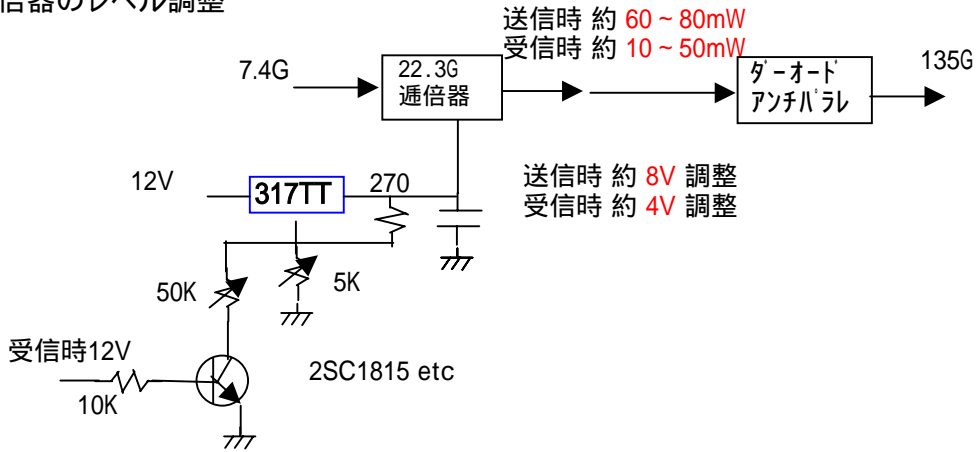
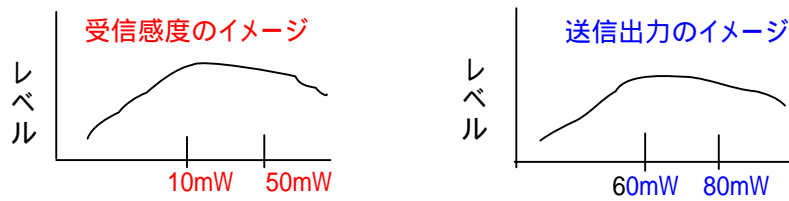


(参考) TRVの調整、イメージは JA3CVF局 の資料による

1. 通倍器のレベル調整



2. 受信送信のレベル

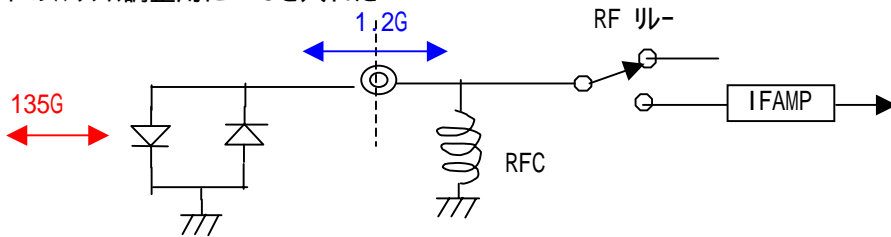


3. LOのドライブ確認

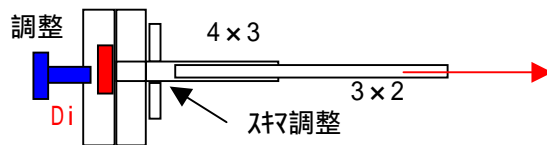
22.3Gが充分ドライブが来ているかの確認は (テスターのレンジは×10)
 LOを入力しない状態で、ミキサのIF端子とアース間のRが約100 くらい (テスターによって、差異あり)
 LOを入力して約10 ~ 50 に下がればダイオードは、正常(充分にドライブができています)
 アンチパラレルなので、テスターの向きはどちらでも、OK

4. ミキサダイオードのバイアス

バイアス調整のVRは不要
 ダイオードのバランス調整用にRFCを入れた



5. .ANT



6. 謝辞

135帯GのTRV製作にあたって、JA3CVF局(森本さん)からミキサーをお分け頂き、さらに製作の勘どころのアドバイスと指導をうけました。ありがとうございました。